

2021.9

いばらきストリートデザイン ワークショップ

ニュース #01

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ!

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような"まちなか"にするための取組を進めています。

2回のミーティング(勉強会)と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



キックオフミーティングとして、ストリートデザインの専門家・山口先生に
ストリートの活用事例や活用に向けたポイントを教わりました。

キックオフミーティング開催概要

レクチャーの ポイント

9月16日(金)19時から、茨木市景観審議会の委員も務められている山口先生をお招きし、IBALAB@広場でキックオフミーティングを開催しました。海外や日本の様々な事例を通して、道路空間が持つ可能性を茨木市でも発揮していくためのポイント・ヒントを教わりました。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

■ 道路の可能性について

- 道路を活用し、人々が居心地よく過ごせるような場にすることで、まちに賑わいが生まれ、より魅力的になります。
- 海外や日本の一部都市では、すでにその取組が始まっています。



パークレットを活用し、歩道上に滞在空間を創出(神戸市)



屋台出店や仮設の家具設置による賑わい空間の創出(門真市)

■ 茨木市のメインストリート(中央通り、東西通り)について

- 交通量が多く、道路や歩道の幅員も広くありませんが、できることは必ずあります。
- 小さな活用実験を積み重ねていくことで、少しずつまちが魅力的になっていきます。

■ メインストリートの将来像の共有について

- まずは、多くの人を巻き込めるような、メインストリートの将来像(ビジョン)を共有することから始めましょう。



今後の取組

これから始まるストリートデザインワークショップでは、みんなを巻き込めるような、魅力的なビジョンをみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

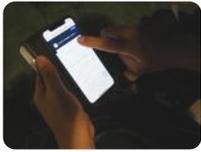
(次回以降の開催予定等は裏面をご覧ください)



約50名の方が
参加されました

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #01



参加者のみなさんからの意見

講演中に、スマートフォンから質問や感想を投稿し、リアルタイムで意見交換を進めました。

中央通り・東西通りは
こうなってほしい



- ▶ 沿道駐車場を活用したコンサートや、街路樹のイルミネーション、新しい市民会館の開館に合わせたストリートフラッグ掲示など、晴れやかな雰囲気演出して、**歩いているだけでワクワクするような道路にしたい!**
- ▶ 魅力的なビジョンをみんなで話し合ってしっかり固めるのと同時に、**変化に対応できる柔軟さも必要**では。



- ▶ 中央通りと東西通りは、沿道も含めてそれぞれ特徴があるので、いろんな意味で役割分担できそう。**まずは比較的交通量の少ない東西通りから取り組んでいくのもあり。**
- ▶ 自転車も歩行者も快適に移動するためには、それぞれの安全な動線確保が必要だが、**道路幅員が変えられない中で**どうことができるだろうか・・・
- ▶ 茨木市の場合、元茨木川緑地との交点部分から始めるのが現在の交通への影響も小さいのではないかと。

様々な課題をひとつずつ解決して
いく必要がある



当日、出席できなかった方向けに動画でご覧いただけます。
ご希望の方はページ下部の問い合わせ先にご連絡ください。

次回は
ココ!



今後の予定



テーマ ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう!

10月17日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

中央通りと東西通りを実際に歩いて、通りの魅力や気になるところを見つけ、共有しましょう。

テーマ ② 通りの“ミライ”をイメージしよう!

11月14日(日)14:00-16:00
場所▶ローズWAM501・502号室

歩いて見つけた魅力を踏まえ、茨木のメインストリートとして望ましい通りの姿を話し合しましょう。

テーマ ③ 通りの“コセイ”を引き出そう!

12月19日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

通りの魅力を高め、個性を引き出すための具体的なアイデアを考えましょう。

本日のキックオフミーティングを踏まえて、ワークショップでは3つのテーマについて考えていきます。**次回のワークショップでは、まちあるきを行い、通りの魅力を探しに行きます。**



参加をご希望の方は

【定員】30人 *大幅に超える場合は、抽選とします
【対象】中央通り・東西通り沿道で働いている方、お住まいの方、この取組に興味がある方
右のQRコードからお申込みいただくか、以下の内容を記載し、メールもしくはFAXにてお申し込みください。①氏名(ふりがな)②年齢③電話番号④メールアドレス

問い合わせ先

茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

参加申込



お待ちしております

参加申込
はこちら



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #02

まち歩き、各グループでの意見交換を受けて

まち歩きで見つけたことや各テーブルで考えたことを共有した後、山口先生からコメントを頂きました。

■ 道路の活用可能性

- ・ 今後、道路空間の使い方が劇的に変わろうとしており、住民が道路でやってみたい活動が実現できる時代になりつつあります。
- ・ 小さなことでもいいので、道路でなにかできないかという意識を持つことが重要です。

■ まちなかの滞留空間

- ・ 茨木市のメインストリートでは、滞留できるような空間は見つからないかと思いましたが、マンションの1階部分や休業日のお店の前、また歩道の植栽帯など、可能性を感じるポイントが思った以上に見つかりました。

■ 魅力と課題

- ・ 自転車の通行を課題として挙げる方が多かった印象です。歩行者にとっても自転車にとっても安心できるような道路環境づくりが必要です。
- ・ 通りの沿道には人気のお店もあるなど、魅力も確かにあります。そのようなポテンシャルを活かして、通りの魅力的な将来像を描いていきましょう。



次回はココ!

今後の予定

テーマ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう!

10月17日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

中央通りと東西通りを実際に歩いて、通りの魅力や気になるところを見つけ、共有しましょう。

テーマ② 通りの“ミライ”をイメージしよう!

11月14日(日)14:00-16:00
場所▶ローズWAM501・502号室

歩いて見つけた魅力を踏まえ、茨木のメインストリートとして望ましい通りの姿を話し合しましょう。

テーマ③ 通りの“コセイ”を引き出そう!

12月19日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

通りの魅力を高め、個性を引き出すための具体的なアイデアを考えましょう。



次回からの参加も大歓迎!

今回のまち歩きで見つけたポイントを踏まえて、魅力的なビジョンをみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

Facebookで情報発信しています

これまでの取り組みはFacebookページにてご紹介しています。右のQRコードを読み込むか、Facebookで「いばらきストリートデザインワークショップ」と検索してください。



参加をご希望の方は

【定員】30人 *大幅に超える場合は、抽選とします
【対象】中央通り・東西通り沿道で働いている方、お住まいの方、この取組に興味がある方
右のQRコードからお申込みいただくか、以下の内容を記載し、メールもしくはFAXにてお申し込みください。①氏名(ふりがな)②年齢③電話番号④メールアドレス

参加申込はこちら



次なる茨木へ。

茨木には、次がある。

問い合わせ先 茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

お待ちしております

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #02

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ!

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような"まちなか"にするための取組を進めています。2回のミーティング(勉強会)と3回のワークショップを通して、各拠点をつなぐ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



中央通りと東西通りのまち歩きを行い、2つの通りの魅力と課題を見つけました

開催概要 テーマ①「通りの“ミリョク”を探しに行こう！」

10月17日(日)14時から、まち歩きワークショップを開催しました。アドバイザーの山口先生からのレクチャーを参考に、4つのグループに分かれて通りを歩きました。まち歩きを通して、中央通りと東西通りの魅力や課題、可能性等を発見することができました。

山口先生からのレクチャーのポイント

■ まち歩きのポイント

- ・ 道路の幅員や沿道建物の用途は、通りによって様子がかなり違い、歩きやすさも違いがあります。
- ・ 通りの利用者は、高齢者、若者、近くに住む人や来る人など、様々な方がおられます。
- ・ また、時間によっても印象が違います。平日の通勤・通学の時間か夕方かによっても印象が異なってきます。そうした様々な視点から通りを見てみましょう。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

まち歩き

各通りは、JR側・阪急側でも、沿道建物の様子や植栽・緑の有無などにより、雰囲気異なります。まち歩きでは、そうした通りごとの違いや魅力、課題を確認しました。《結果は中面をご覧ください。》

■ 道路空間の印象

道路空間を魅力的にするには、道路を活用する視点も重要です。「道路をつかってどのようなことができるか」というイメージも膨らませながら歩きました。

■ 様々な利用者の気持ちになって歩いてみました

通りには様々な利用者がおられます。今回は、参加者自身の視点に加えて、様々な道具(ツール)を使い、高齢者や車いす利用者、子育て世代や自転車利用者など、様々な利用者の視点でも通りを歩きました。



車いすやベビーカー、自転車などを使い、いつもと違った目線でも歩きました。

まちあるきで見つけたもの

魅力 課題 印象

まちあるきを通して、中央通りと東西通りで見つけたたくさんの「魅力」「課題」「印象」の中から、代表的なものをご紹介します。



参加者それぞれが見つけた魅力や課題を書き出しました



2つの通りにたくさんの魅力や課題が見つかりました



各グループが見つけたものの発表し参加者みんなで共有しました



それぞれの通りで気づいたものを対象ごとに整理すると、以下のような項目に分類することができました。

通りの使われ方

中央通り

- 通勤・通学で通る人が多い
- 道行く人が前しか見ていない
- バスなどの車通りが多く、歩道が狭いため圧迫感がある

東西通り

- 坂道のところで、歩行者や車椅子の人はしんどくなり、自転車は下りでスピードを出し過ぎる

1階部分の様子

全体

- 良いお店が多い一方、立ち止まったり立ち寄れるようになっていない
- マンションの1階が寂しい印象があり、店舗になれば更に良くなる

東西通り

- 看板が少なく落ち着く
- クリニックなど、休日はシャッターが閉まるテナントが多い

道路の附属物 (植栽やベンチなど)

全体

- 立ち寄って休めるような休憩スペースやベンチがあつたらいい
- バス停に座るところがない

東西通り

- 緑が多く、花もあると一層良くなる
- 道路が広く開放感がある
- 歩道の植栽が大きく、一部で道が狭くなっている

自転車での通行

中央通り

- 交通量が多く、走るのが怖い
- 車の路上駐車が邪魔
- 沿道に駐輪場がない
- 自転車がどこを走つたらいいのかわからない

東西通り

- 幅員が大きいので、走りやすい
- 自転車目線では、低い緑は目に入らず、高い木の緑を感じることができる

建物のデザイン ポリウム感

全体

- 商業地域なので今後は高層化していくのかもしれない
- 外に対して開いているお店が多い

中央通り

- 魅力的な和風の家屋が残っている
- 建物の新旧の差が激しいなど、統一感がない

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #03

各グループでの意見交換を受けて

各班で話し合ったことを踏まえて、山口先生からコメントを頂きました。

■ 通りの将来像設定に向けて

- 暮らしの中で、思いがけない出会いがあるのが通りの良さ・強みです。歩きながら、**人の活動や顔が見えるなど、まちが生きている様子を感じられる**ことは、通りの将来像の大事な要素になると思います。

■ 将来像実現に向けた具体的取組について

- 一般的に、人が歩いて良いと感じる距離は 300m程度であると言われています。
- 両駅と市役所（市民会館跡地エリア）の距離が約600mですから、その間に**1～2箇所、歩きたくなるような仕掛けや取組が必要**だと思います。
- 具体的な仕掛けのイメージとして、本日の議論では、**立ち寄り、ゆっくりできるような空間のニーズが高い**ように感じました。
- まずは**社会実験的な取組から始めて、それを面的に広げていく**ことができればいいと思います。



次回はココ!

今後の予定

テーマ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう!

10月17日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

中央通りと東西通りを実際に歩いて、通りの魅力や気になるところを見つけ、共有しましょう。

テーマ② 通りの“ミライ”をイメージしよう!

11月14日(日)14:00-16:00
場所▶ローズWAM501・502号室

歩いて見つけた魅力を踏まえ、茨木のメインストリートとして望ましい通りの姿を話し合しましょう。

テーマ③ 通りの“コセイ”を引き出そう!

12月19日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

通りの魅力を高め、個性を引き出すための具体的なアイデアを考えましょう。



次回からの参加も大歓迎!

歩きたくなるストリートの実現に向けて、**具体的な取組や空間のイメージをみなさんと一緒に考えていきたい**と思います。

Facebookで情報発信しています

これまでの取組みはFacebookページにてご紹介しています。右のQRコードを読み込むか、Facebookで「いばらきストリートデザインワークショップ」と検索してください。



参加をご希望の方は

【定員】30人 *大幅に超える場合は、抽選とします
【対象】中央通り・東西通り沿道で働いている方、お住まいの方、この取組に興味がある方
右のQRコードからお申込みいただくか、以下の内容を記載し、メールもしくはFAXにてお申し込みください。①氏名(ふりがな)②年齢③電話番号④メールアドレス

参加申込はこちら



次なる茨木へ。

茨木には、次がある。

お待ちしております

問い合わせ先 茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #03

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ!

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような"まちなか"にするための取組を進めています。2回のミーティング(勉強会)と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



歩きたくなるような「ストリートの将来像」をイメージし、話し合いました!

開催概要 テーマ②「通りの“ミライ”をイメージしよう！」

11月14日(日)14時から、第2回目のワークショップを開催しました。「通りの“ミライ”をイメージしよう」をテーマに、どんな通りだったら歩きたいと思えるのかや、中央通りと東西通りを将来どうしていきたいのかなどについてイメージし、話し合いました。

山口先生からのレクチャーのポイント

■ 通りの将来像を考えていく上でのポイント

- どんな通りだ行ってみたいと思うのか、まずは具体的なシーンを想像することから始めましょう。
- 具体的な場所から想像する方法(この場所で何が出来るか)と、自分がやってみたいことから想像する方法(やってみたいことはどこで出来るか)などがあります。
- そして、想像したシーンから大事にしたい「キーワード」を抽出し、それを将来像につなげていきましょう。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

当日のグループワークの内容

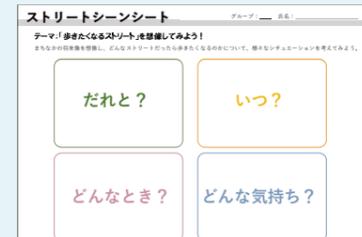
前回のまち歩きで見つけた通りの特徴を各班で共有したあと、グループワーク①では「歩きたくなるストリートの具体的なシーンをイメージ」し、グループワーク②では「通りで大事にしたいキーワード」について話し合いました。

■グループワーク① 歩きたくなるストリートの具体的なシーンをイメージしよう
どんな通りだったら歩きたくなるのかについて、ワークシートを用いて様々なシーンをイメージしました。



■グループワーク② 通りで大事にしたい「キーワード」を抽出しよう
イメージした具体的なシーンを踏まえて、将来の通りで大事にしたい「キーワード」を抽出し、現状の通りに足りないことや、さらに伸ばすべきことなどを話し合いました。

【ワークシート】



ワークシートに、「だれと」「いつ」「どんなとき」「どんな気持ち」の4つを書き込み、歩きたくなるような将来の通りの具体的なシーンを考えました。

歩きたくなるストリートってどんなイメージ？

「歩きたくなるストリート」をイメージし、通りとして大事にしたいキーワードや将来像の実現に向けたポイントについて、4つのグループで話し合った内容をまとめました。



実現のための具体的な工夫に関する意見も出ました！

- ・イルミネーションや足元照明による特別感の演出
- ・時間を区切った歩行者天国
- ・公園付近や通りの角地にベンチ
- ・キッチンカー
- ・ドアが開いていたり、ガラス張りでお店の中の様子がみえる店舗

1班

歩きたくなるストリートのイメージ

- ・四季を感じることができる通りであれば歩きたくなる。
- ・目的地へ向かう道の途中からワクワクできる通りがいい。
- ・祭りのときのお囃子が向かう沿道で聞こえるように、**エリア全体で楽しい空間**にしたい。目的地は新施設のイメージ。

- ・開放的なテラス席でふらっと一杯、ストリートでも楽しめるようになったらよい。
- ・沿道の方が気軽に集まれ、コーヒー片手に会話を楽しみたい。
- ・そこに行けば誰かに会えるようになればよい。
- ・一人でぼーっとできるなど、**一人の時間を大切にしたい。**

キーワード

景観的な統一感

ふらっと立ち寄れる
人の営みを感じることができる通り



2班

歩きたくなるストリートのイメージ

- ・ささやかなコミュニケーションが、どこか心地いい。
- ・ちょっとした人の滞留空間があるので、そこがコミュニケーションの場になる。
- ・通学する学生は、「急いで歩いている」だけで、そこで**人と人のコミュニケーション**があれば、朝のゆとりや豊かさが生まれる。
- ・“待ち合わせ場所”では、人が集まり、自然とコミュニケーションが生まれる。

- ・障害のある人もない人も気兼ねなく食事できるとよい。
- ・通りのミライは、“**ミライがある通り**”では！
- ・全ての人にとってウェルカムな通りとなるのがメインストリート。
- ・通りの店舗は、**ガラス張り**で中で何をやっているのか分かって、入りにくさがなくなる。逆に、一見すると入りにくいお店が路地裏にあるとさらにおもしろい。

キーワード

人と人の
“ワン・コミュニケーション”
がある通り

ちょっと先の“ミライが見える”通り
多世代の様子が“見える”通り



3班

歩きたくなるストリートのイメージ

- ・茨木別院に立派な桜の木があり、桜の季節に通ると楽しい気持ちになるので、**自然や季節**を感じることが出来たら歩きたくなる。
- ・一人で昼に散歩する時に、**緑が多くて落ち着いた雰囲気**があると歩きたくなる。

- ・孫と昼にでかけて、**特徴的なお店**や入りやすいお店と一緒においしいものを食べて幸せな気持ち。
- ・家族の誕生日に、外食に出かける途中、**通りに雰囲気**のいい店があり、賑わっているのを見ると幸せな気持ちになる。
- ・通りにあるお店の人と立ち話できると楽しい。

- ・帰宅途中で、ひとりで一息つきたくなった時に、**何も考えずゆったりできる場所**があれば、寄りたくなる。
- ・休日に子供と中央広場のイベントに出かけると、**子供は椅子に座りたがるので、通りに座る場所**があると、安心して出かけられる。

キーワード

自然に触れる、季節を感じる

外に開いて入りやすい店、
楽しく食事できる店、
店員とコミュニケーションが取れる店

休憩したい、のんびりしたい



4班

歩きたくなるストリートのイメージ

- ・茨木神社の中を歩いて通勤していると、**季節の変化**が感じられて、元気になる。
- ・休日やイベントごとだけでなく、日々の通勤通学時に“**がんばるぞ**”とスイッチが入るような通りがいい。

- ・そもそも中央通りや東西通りは、**2人並んで会話しながら歩けるような安心・安全な道**ではないんじゃないか？

- ・誕生日やハレの日が、目的地に向かうまでの道も楽しめる“**まちなかUSJ**”(歩くたびに発見があり、ワクワクするストリート)のようなストリート。
- ・どんなシチュエーションでも、まちなかの人々が歌ってくれるような**歓迎ムードのあるストリート**。
- ・歩いている人が**主役**になるストリート。

キーワード

愛でる空間がある

安心・安全
並んで歩ける通り

いつでも主役になれる



いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #04

各グループでの意見交換を受けて

各班で話し合ったことを踏まえて、山口先生からコメントを頂きました。



■今後の取組展開に向けて

- ・空間づくりのアイデアの中には、すぐにでも実現できそうなものもありました。
- ・今日出たアイデアをもとに、来年度は将来像実現のための「空間づくり社会実験」を展開していきます。

■場所の利活用のためのプロセスについて

- ・場所の利活用は、そこがどういう場所かで進め方が変わってきます。
- ・一例ですが、民有地や歩道であれば、地権者やお店で商売されている方との交渉・調整が重要ですが、車道であれば、それに加えて自動車の交通処理などの技術的検討も必要になってきます。

今回からの参加も大歓迎！

今後の予定

2022.2.6 日
15:00 START

会場：福祉文化会館 303 号室

いばらきストリートデザインワークショップ

ステップアップミーティング開催

メインストリートの将来像の実現に向け、来年度以降、社会実験など様々な取組を進めていくため、プレイスメイキングの取組みや持続的な仕組みづくりを全国各地で実践している園田聡氏（有限会社ハートビートプラン）をお招きし、全国各地の事例をもとにお話しいただきます。



園田 聡 氏
有限会社ハートビートプラン

参加申込は
こちら



来年度以降の予定

今年度のワークショップで考えた空間づくりや取組のアイデアを踏まえ、令和4年度は中央通りや東西通りで“社会実験”を実施し、検証していきます。また、令和5年度にはメインストリートをデザインする指針をガイドラインとしてまとめ、環境整備を含めた様々な取組を推進していきます。



ステップアップミーティングの
情報も随時更新予定です

Facebookで情報発信しています

これまでの取組を Facebook ページにてご紹介しています。また、ステップアップミーティングの詳細情報についても、今後情報発信をしていきますので、ぜひ Facebook ページをフォローしてください！右の QR コードを読み込むか、Facebook で「いばらきストリートデザインワークショップ」と検索してください。



次なる
茨木へ。

問い合わせ先 茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

いばらきストリートデザイン ワークショップ

ニュース #04

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ！

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にするための取組を進めています。2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ“メインストリート”である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



歩きたくなるメインストリートに向けて、取組や空間活用のアイデアを話し合いました！

開催概要 テーマ③「通りの“コセイ”を引き出そう！」

山口先生からの
レクチャーの
ポイント

12月19日（日）14時から、第3回目のワークショップを開催しました。「通りの“コセイ”を引き出そう！」をテーマに、歩きたいと思う中央通りや東西通りにしていくための取組や空間活用のアイデアを、模型を使いながら話し合いました。

■通りを歩きたくなる空間にしていくためのポイント

- ・最初から通り全体をガラリと変えてしまうことを考える必要はありません。
- ・通りの中の1つのスポットを魅力的な空間に変えることができれば、はじめは小さな場所だったとしても、いずれはそれが全体に広がっていきます。
- ・誰かのための空間づくりを考えることも大事ですが、『自分が』そこにいたい、何かやりたいと思えるような空間を考えることから始めてみてはどうでしょうか。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

当日のグループワークの内容

前回のワークショップで考えた「歩きたくなる通りの将来像（大事にしたいキーワード）」をもとに、具体的にどういふ場所でどのような空間づくりができるか、模型作りを通して考えました。

■グループワーク① モデルスポットを選ぼう！

今後、通りの将来像を具体化していくにあたり、これまでのまち歩きなどで捉えた通りの特性などを踏まえて、各グループで2～3か所のモデルスポットを選びました。



■グループワーク② 将来像を実現する空間づくりを考えよう！

モデルスポットにおいて、歩きたくなる通りの将来像を実現するための空間の設えや、人々の活動、滞在の仕方などを考え、それを模型にして具体化しました。

【モデルスポットの模型】



道路の平面図に、沿道の写真を組み合わせた簡易模型を作りました。植栽やベンチ、椅子、屋台、バナー広告等のツールを配置したり、道路上に大胆に芝生を張ってみるなどして、魅力的な空間づくりを行いました。

歩きたくなるストリートってどんな空間？

歩きたくなるストリートをイメージし、どのような場所でどのような取組や空間づくりを進めていきたいかについて4つのグループで話し合った内容をまとめました。



どうい場所を使いたい、活用できそうな場所はどこかを話し合い、モデルスポットを抽出しました。



抽出したモデルスポットの模型を使って、具体的な空間づくりを考えました。

多世代が集える”にぎわいストリート”

店舗が集積している場所で、側道を使って賑わい空間を作りたい

ウッドデッキを設置し、車いすやベビーカーが移動しやすい設えにする



側道に芝生を敷いて人々がお店で買ったものを食べたり、くつろいだりできるようにする

歩道にもテーブルやベンチなどを設置し、自転車を押して通過するように促す

賑わうエリアに”ふらっと”立ち寄れるスポット

色んな人が集える場所が通りの中にあると良い

周辺のお店でテイクアウトしたものを食べられるようにベンチやテーブルなどを設置する



通り沿いの場所を滞在できる空間にする

”自然に触れて憩える”ストリート

通りの中に緑や水辺を感じられる場所がほしい

既に緑がある空間の近くに、緑空間をつくり、一体的な緑の空間をつくる



水辺や足湯をつくったり、お店や家の前では、打ち水をしたりして、水を感じられる場所にする



食べ歩きができるような通りにしたい

店舗や店舗前のショーケースをガラス張りにしたり、テラス席を設置して、様子が外から分かると楽しい

植栽にベンチをくっつけて、緑のそばで休みたい

バス停でバスを待ったり、信号待ちをしている人同士が、同じ町に住んでいるという感覚になるようなことがあると、なんとなく良い

通りに七輪を置いて、お店で買ったものを焼いたりお酒を飲んだり、”ビアストリート”がやりたい

安全安心に道を使うために、通勤・通学時間帯は自転車専用レーンにするなど、空間のタイムシェアができないか

夜道でも明るく安全に歩けるあかりがほしい

座ってても恥ずかしくないくらいたくさんベンチがほしい

地域の人々が集うお店が近くにあり、新施設とJR茨木駅の間にある公園を活用したい



公園入口の植栽帯を撤去してウェルカムな雰囲気をつくる
公園内にベンチを設置し、キッチンカーなど飲食系の営業をしてもらい、ふらっと立ち寄れる場所にする

目的地間で”ふらっと”立ち寄れる広場

安全に並んで歩ける道にしたい



沿道にある空地や駐車場などを活用し、歩ける幅を増やす

芝生を設置して憩えるようにしたり、キッチンカーや屋台を置いて誰かと歩きたくなるような通りにする

安心して”並んで歩ける”ストリート

テイクアウトしたものを食べる場所がほしい

最近、通りにおしゃれなスイーツの店が増えてきている。さらにキッチンカーを呼ぶなど、スイーツ通りのようにできないか



食後の休憩ができるハンモックを設置する

”会話もスイーツも楽しむ”ストリート

紙面に載せきれないたくさんの空間づくりのアイデアが生まれました



今回のワークショップで出たアイデア等を踏まえて、次年度に実施する社会実験の内容を検討していきますが、関係機関協議等により、実施場所や内容が変更になる可能性があります。

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #05

今年度の取組みと成果

今年度は、2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきました。

各回の開催概要は、市HPやFacebookページに掲載しているニュースレターをご覧ください。

キックオフミーティング

海外や日本の様々な事例を通して、道路空間が持つ可能性を茨木市でも発揮していくためのポイント・ヒントを教わりました。

ワークショップ

中央通りと東西通りをより魅力的な通りにするために、3つのテーマについて考えました。

テーマ ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう！

4つのグループに分かれてまち歩きを行いました。まち歩きを通して、中央通りと東西通りの魅力や課題、可能性等を発見することができました。



テーマ ② 通りの“ミライ”をイメージしよう！

どんな通りだったら歩きたいと思えるのかや、中央通りと東西通りを将来どうしていきたいかなどについてイメージし、話し合いました。



テーマ ③ 通りの“コセイ”を引き出そう！

歩きたいと思う中央通りや東西通りにしていくための取組や空間活用のアイデアを、模型を使いながら話し合いました。



ステップアップミーティング

トークイベントを開催し、メインストリートの将来像（素案）を共有したうえで、次年度以降の取組に向けて学び、語り合いました。

次年度以降の予定

令和4年度は、道路を活用した様々な社会実験を実施します。秋ごろの実施に向けて、みなさんと一緒に4月から具体的な検討を始めていきます！

R4年度

活動や滞留を促す
社会実験で検証

R5年度

魅力ある通りの指針となる
ガイドラインを作成

R6年度以降

ガイドラインを踏まえた
環境整備

約10年後の未来を見据えて
未来の姿を検討

これまでの取組みを
Facebookページにて
ご紹介しています



次なる茨木へ。
茨木は、次がある。

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #05

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ！

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような"まちなか"にするための取組を進めています。2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



皆さんとこれまで取り組んできたワークショップの結果を踏まえ、メインストリートの将来像を素案として取りまとめました。

メインストリートの将来像（素案）

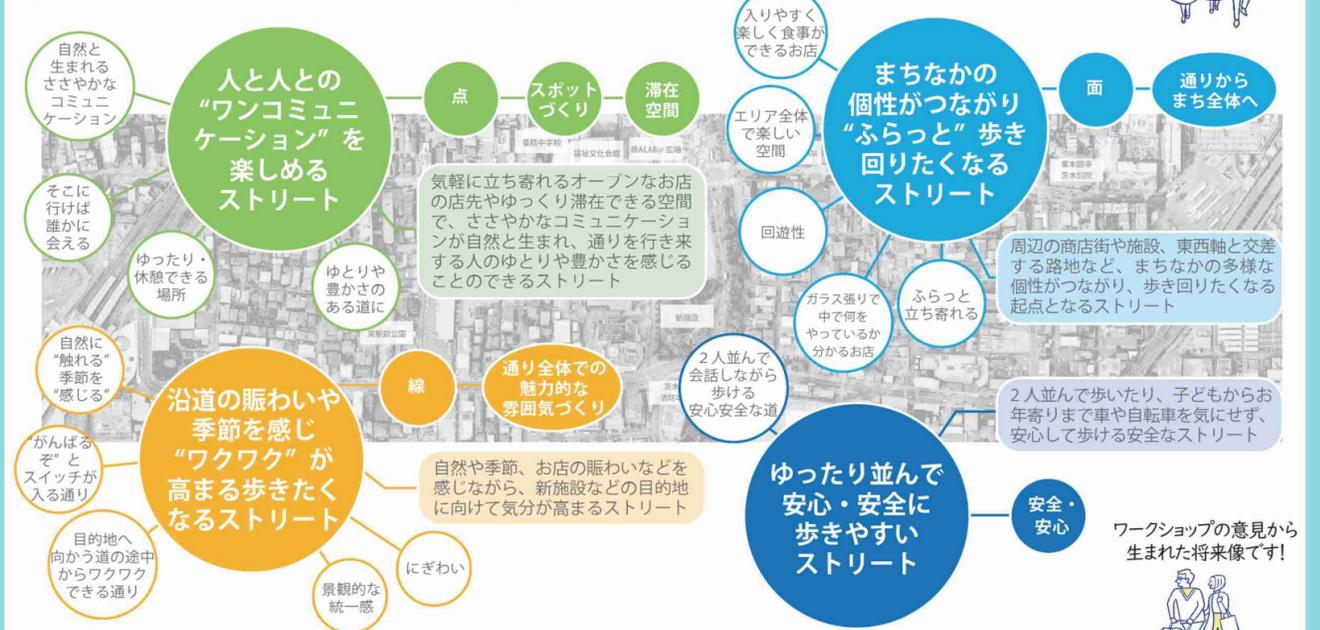
将来コンセプトと、それをより具体化した4つのストリートイメージで構成しています。歩きやすさを支える「安心・安全」の視点を土台に、歩きたくなるような魅力的なストリートにつながる要素として、「点（スポットづくり）」「線（通り全体での雰囲気づくり）」「面（通りからまち全体への波及）」をイメージとして掲げています。

めざすべき将来コンセプト

人が主役になり、まちの魅力を“次ぐ”2つのメインストリート

市役所、新施設、広場などがある中心部と両駅をつなぐメインストリートとして、目的地へ向かう期待感や魅力的な雰囲気を演出する空間をデザインし、ストリートの魅力をまち全体に広げていく。

めざすべき将来像に基づくストリートイメージ



*この将来像は確定したものではありません。今後、様々な場所でご意見をいただきながら磨き上げていきます

トークイベントを開催しました

2月6日（日）15時から、生活の豊かさを高める居場所づくりの取組を全国各地で実践されている園田聡氏の講演をお聞きした上で、本取組のアドバイザーである京都大学の山口准教授、福岡市長も加わり、次年度以降、社会実験などを通じて将来像（素案）を実現させ、魅力的なストリートにしていくためのポイントなどについて語り合いました。



約40名の方が参加されました

参加者のみなさんからの意見

講演中に、スマートフォンから質問や感想を投稿し、リアルタイムで意見交換を進めました。

学生が多いエリアなので、学生も参加・利用しやすい、愛着を持てる場づくりができるといいですね。

効果が現れるのには時間がかかることが理解できました。人がまちなかで楽しく過ごしている場面を、少しずつ増やしていけるといいですね！

目的地となるような場所が、たくさんあることがやはり魅力的ですね。

街の事業者との協力が大事だと感じました！



レクチャー（園田聡氏）

「まちなかの価値を高める ストリートの使い方・つくり方」



利用者と一緒にルール作りや運営管理を考え、多様なシーンが生まれている広場（豊田市）



【講師】
有限会社
ハートビートプラン 取締役
園田 聡氏

専門は都市デザイン、プレイスメイキング。
大阪・東京を拠点に全国各地でプレイスメイキングの理念・手法を用いた実践・研究に取り組む。

■ まちの魅力とは

- ・まちの魅力とは、義務的な活動ではなく、自らやりたいと思えるような活動（散歩、読書、遊び、会話など）がどれだけ起きているかで決まります。
- ・コロナ禍を踏まえ、**道路や広場などの身近なパブリックスペースで、そのような自由な活動ができる場所を生み出していくことがますます求められています。**



■ 実践事例を踏まえた場づくりのポイント

- ・「なぜやるのか」という**目標を共有しながら、覚悟を持って自分ごと**にできる人々と共に創っていくことが重要です。目標を明確にしたうえで、小さな試行と検証を積み重ねることで、状況は変わっていきます。
- ・一つだけではなく、**複数の場所を対象に取り組むことで、いろいろな人の「やってみたい」を受け止めることができるようになり、まちの可能性が広がります。**
- ・質が高く、持続可能な運営には、適切な役割分担も大切です。地域の方や事業者・団体によるアイデアや質の高いサービスの提供と、行政による適切な規制緩和が合わさることが望ましいです。



仮設の店舗による賑わい空間の創出（豊田市）



公民連携によって運営している芝生広場と拠点施設（豊田市）



多様な滞留空間の創出（姫路市）

クロストーク（園田聡氏 × 山口敬太氏 × 福岡洋一市長）

「茨木らしいメインストリートとは…」



園田 聡氏

茨木のメインストリートの可能性

- ▶ 時間帯によって人がばったりといなくなるオフィス街や繁華街でもない。**人の暮らしが根付いたストリートであることに可能性を感じました。**あくまで住むことがベースにあって、そこに住む以外の楽しみが増えていくことで、暮らしの豊かさを感じられるのだと思います。
- ▶ 道路幅員にそれほど余裕はないようですが、例えば、**お店の中の様子が見えるようにするなど、道路上を占用せずに沿道の豊かさを感じられる方法**もあります。
- ▶ 車の交通量が多くコインパーキングが多いならば、1日最大料金を支払ってそこを借り切ってしまうなども面白いかもしれません。

魅力的な道路空間の実現に向けて

- ▶ 通りの将来像を考えるワークショップでは、「他者の存在を感じながらも、一人でゆったり過ごすくらいがちょうどよい時もある」という意見が出ていました。このような**他者と空間を共有している感覚は、それ自体「ささやかなコミュニケーション」**であると思います。
- ▶ 「ささやかな」に加えて、「ふらっと」「気軽に」という意見も印象的でした。これから魅力的な道路空間づくりを進めていくにあたって、そうした仕掛けが求められると感じています。



山口 敬太氏



福岡 洋一市長

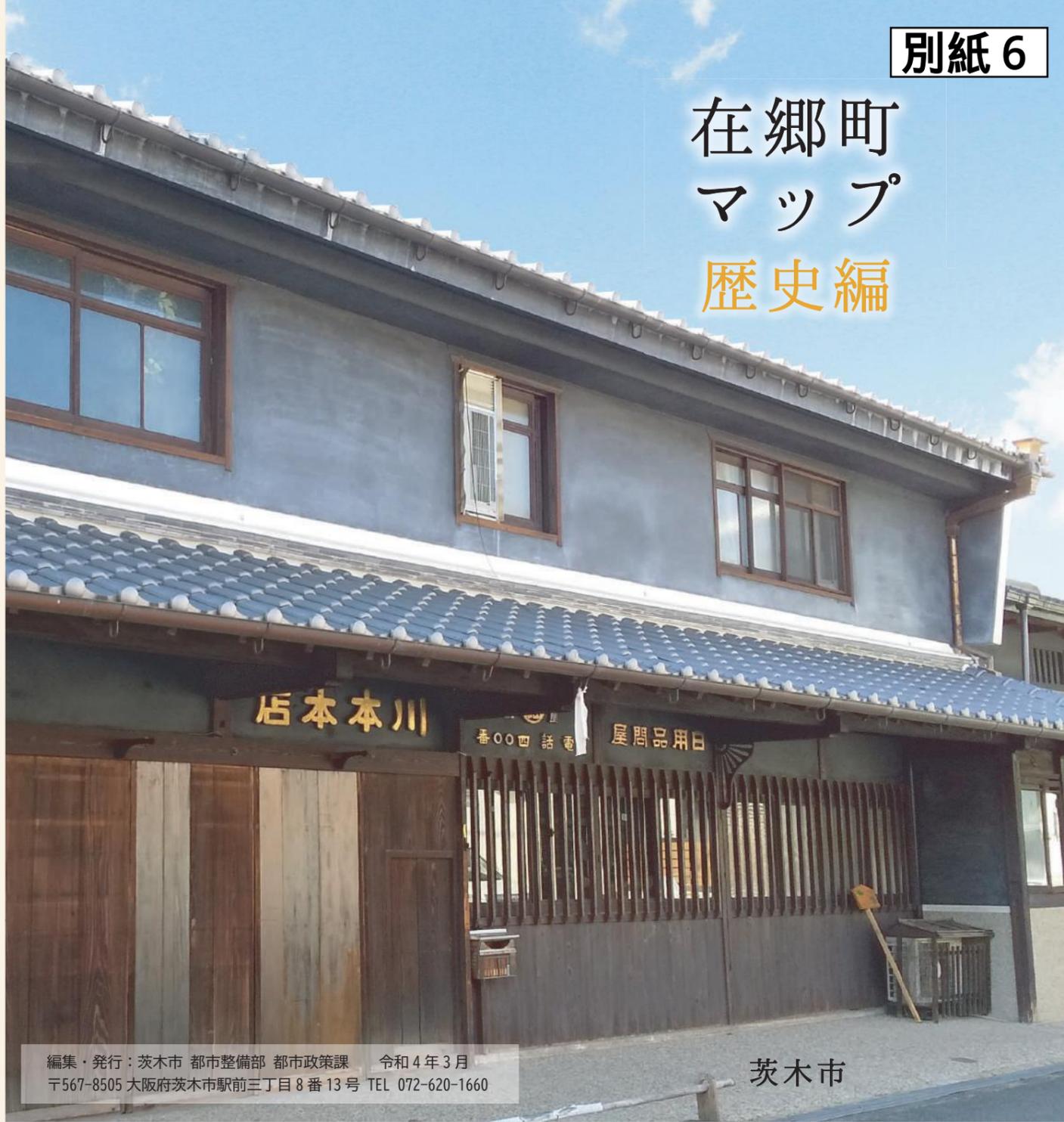
豊かさや幸せを感じる人との出会い

- ▶ 豊かさや幸せには、人との出会いが欠かせないと考えており、**まちなかに人が出てきて、出会いが生まれるようなスポットをつくっていききたい**と考えています。
- ▶ 現在建設を進めている新施設では、目的地に辿り着くまでに、様々な寄り道をして出会いが生まれる仕掛けを用意していますが、そのような**仕掛けを、道路をはじめ、まちなかでも展開していききたい**です。



これまで、公共空間において様々な社会実験を積み重ねてきました。今後も、将来像を市民の皆さんと共有しながら、歩みを進めていきたいと思ひます。

在郷町 マップ 歴史編



編集・発行：茨木市 都市整備部 都市政策課 令和4年3月
〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号 TEL 072-620-1660

茨木市

在郷町とは

在郷町(ざいごうち)とは、一般に、農村部で発達した商工業集落をさします。茨木市には、概ね北はJR京都線、南は阪急京都線、西は元茨木川緑地、東は高瀬川に囲まれた場所に在郷町があります。

安土桃山時代、茨木村には茨木城を核とする城下町が存在しましたが、江戸時代初期の一国一城令により廃城となってからは、城下町一帯は在郷町となり、酒造業や人力搾油業などが行われていました。

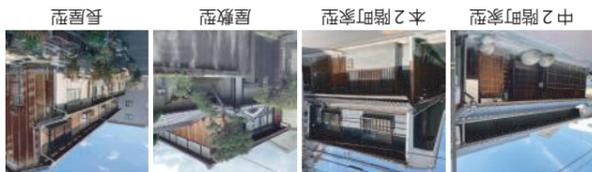
現在は、駅から近く、大変便利なエリアとなっていますが、町なかには古くからのまちの痕跡が所々に残っており、大変貴重で、魅力がたくさん詰まっている場所です。

在郷町の範囲



在郷町の中には、各所にお祭りされている化粧地蔵様、昔の道しるべである道標、明治初期に建設された「丸また」と呼ばれるレンガ造りの橋など、歴史的なものもまだまだたくさんあります。

その他



在郷町に現存する町家は、大きく4つに分類されます。「中2階町家型」「本2階町家型」の町家は、当初は玄関にミテ(商売をするための空間)が設けられていたと考えられ、旧街道に面して立地しているのが特徴です。「長屋型」の町家は、昭和戦前期を中心に専用住宅として建築され、旧街道から外れた場所に立地しているのが特徴です。

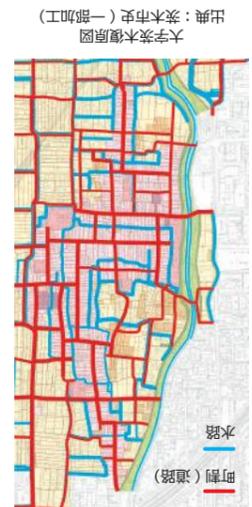


享保年間の絵図には、6つの寺社仏閣が描かれています。最も歴史があるのは、旧茨木川跡地沿線の茨木神社です。その他、国登録有形文化財に登録されている茨木別院や、妙徳寺、浄教寺、梅林寺、本源禅寺があります。

寺社仏閣

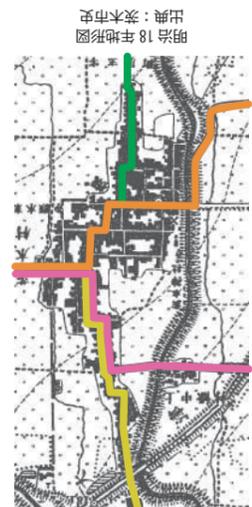
在郷町の歴史を今に伝える要素

水路



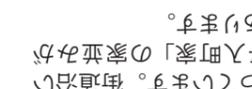
在郷町の中には水路が通っており、町なかを歩いていると、水路の痕跡を見ることが出来ます。

町割



在郷町には、城下町特有の複雑に入り組んだ町割が残っています。そして、昔の町名を調べてみると、どのような街だったかを想像することが出来ます。

街道



在郷町には、4つの街道が通っています。街道沿いには、昔の趣を感じさせる「平入町家」の家並みか今でも少し残っているところがあります。

高槻街道

明治期の県道(府道)にあたり、茨木市域中央を南西から北東の方向に通る道です。このコーエは、在郷町と大坂を結ぶ主要路でした。

茨木街道支線

明治期の一般補助里道にあたり、安威川沿いに北上する、後の茨木亀岡線の基となった道です。

茨木街道

明治期の一般補助里道にあたり、坂城脱出ルートともなったといわれています。

枝切街道

明治期の一般補助里道にあたり、茨木市域南部を縦に貫く道です。大坂の陣の発端とされる片桐且元が

歴史 まち歩き MAP

＼探してみよう！／

たくさんの
お地藏様



昔の道を
案内する
道標

PICK
UP!

さわらぎや家具店



明治時代より家具屋を営んでいる町家。屋号は澤良宜屋。通り沿いの前面にはミセ（商売をするための空間）があり、背面北寄りには当時のままの座敷を残している。

PICK
UP!

国登録有形文化財

茨木別院



茨木別院は真宗大谷派（東本願寺別院）として慶長8（1603）年に創建された寺で、400年以上の歴史を誇る。現在の本堂は、安永6（1777）年頃に再建されたもの。2016年には、建物の優れた意匠や高い力量などが認められ、本堂・太鼓楼・鐘楼が国の登録有形文化財に登録された。

凡例

- 地藏
- 道標
- 町家
- 門
- 国登録有形文化財
- 在郷町境界
- 茨木街道
- 高槻街道
- 茨木街道支線
- 枝切街道
- 旧町名
- 明治期初期の字界

このマークは、茨木小学校5年生が見つけた在郷町のお宝＝「古きよきもの」です。

＼探してみよう！／

いろんな
形の屋根



特徴的
な意匠

PICK
UP!

国登録有形文化財

川本家住宅



江戸時代は藍染屋を営んでいた町家。一階内部は、玄関先にミセ（商売をするための空間）があり、外面北寄りに座敷がある。通り土間には、敷地奥の倉庫にのびるトロッコレールを残している。2014年には、近世以来商工業の拠点として栄えた茨木の面影を伝える町家として、国の登録有形文化財に登録された。

PICK
UP!

茨木城櫓門

旧茨木城搦手門



現在の茨木小学校の位置に茨木城の二の丸があったとされることから、茨木小学校創立120周年を記念して櫓門を復元した。



現在の茨木神社東門は、茨木城の搦手門が移築されたものと考えられている。

PICK
UP!

風情ある町並み



町家が連続して残り、古き良き町並みを回想できるスポット。

※まち歩きの際は、私有地内には立ち入らず、プライバシーに配慮してください。また、住宅地内での大声での会話は控えましょう。※ごみは持ち帰り、美観の維持にご協力をお願いいたします。